

## 令和2年度 美術科 1学年 年間指導計画・評価計画

### 1、教科目標

「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、豊かな感性と表現の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、創造活動の喜びを味わいと共に美術を愛好する心情を育てる。」

### 2、評価の観点及びその趣旨

【関心・意欲・態度】美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、主体的に学習に取り組もうとしている。

【発想・構想の能力】感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことを目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩の構成などを工夫し、豊かな構想を練っている。

【創造的な技能】感性や造形感覚などを働かせて、形や色彩などの表現方法を習得し、意図に応じて材料や用具を生かした制作の順序を考えられ、創意工夫して表現できている。

【鑑賞の能力】感性や想像力を働かせて観察し、作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図をくみ取ることができる。また、日常生活における美術の働きなどに気づき、自らの視野を広げ、多角的な視点から物事を捉えている。

### 3、第一学年の目標

(1) 美術の活動に主体的に取り組む姿勢を持ち、美術を愛好する心情と共に心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。

(2) 対象を観察し感じ取る力や想像力を高め、発想や構想する能力や基礎的な表現の技能を習得し、意図に応じて創意工夫し表現する能力を育てる。

(3) 自然の造形や美術作品などの基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、個々のよさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

4、指導計画・評価計画表

月	指導計画	観点・評価規準				評価方法
		関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
4 5						
6 7	<b>デザイン基礎（5時間）</b> ・トーンスケール ・カラースケール、混色表 ・講評会	基本的な色の調子や色彩の知識を理解しようとしている。	色の持つ意味を理解し、手順よく計画を立てられる。	色彩や混色の技法を習得し、丁寧に作品を仕上げている。	多くの作品を鑑賞し、良さや楽しさを味わうことができる。	・授業への姿勢 ・チェックシート ・作品 ・プレゼンシート
7	<b>鑑賞「東西の表現」（2時間）</b>	東洋と西欧の作品の表現方法や歴史背景を積極的に理解しようとしている。			東西の作品を理解し、作品の特徴や互いの影響について理解し考えられる。	・授業への姿勢 ・プレゼンシート
8 9	<b>レタリング（9時間）</b> ・明朝体、ゴシック体 ・スケッチブック表紙デザイン ・講評会	レタリングの基本形を知り、正確に表現しようとする。	大きさや構図を考えて美しく構成できる。	それぞれの文字の特徴をとらえて正確に描き上げ塗ることができる。	丁寧な仕上げがなされているか客観的に味わえる。	・授業への姿勢 ・チェックシート ・作品 ・プレゼンシート
10 11	<b>色彩（7時間）</b> ・プッシュステンド ・講評会	ステンドグラスの表現方法を理解し、表現しようとする。	自由な発想で、配色を考えた表現をするための構想を工夫できる。	配色の美しさと構図の表現を組み合わせることで制作できる。	多くの作品を鑑賞し、構図の良さや配色の美しさを味わうことができる。	・授業への姿勢 ・チェックシート ・作品 ・プレゼンシート
12	<b>モダンテクニック（3時間）</b>	モダンテクニックの表現方法を理解し、表現しようとする。	モダンテクニックを用いて表現するための構想を工夫できる。	モダンテクニックの美しさと絵の表現を組み合わせることで制作できる。	互いの作品を鑑賞し、構図や色合いの良さを感じ取ることができる。	・授業への姿勢 ・チェックシート ・作品
1 2 3	<b>模造（6時間）</b> ・紙粘土でそっくりに造る ・講評会	材料や道具の準備ができ、意欲的に制作しようとする姿勢がある。	粘土の感触や造形上の楽しさをもとに豊かな構想ができる。	成形のプロセスを理解し、粘土の特徴を生かしながら楽しく制作することができる。	粘土のもつ造形上の効果や作者の意図を感じ取ることができる。	・授業への姿勢 ・チェックシート ・作品 ・プレゼンシート